

自校の指導ツールを他校の教師とともに検討し、各校の生徒特性に合った形へ改善を図る本コーナー。今回は、各学年の年度初期の指導で活用できる「年間目標達成シート」について検討する。

# Before

広島県立広島観音高校  
長光優樹先生提供

「全学年 年度初期  
年間目標達成シート」

## 課題

- 1 評価・軌道修正などの振り返りができる機能を持たせたい
- 2 学校が目指す生徒像と生徒の目標を関連づけたい

## 検討メンバー



ツール提供者  
広島県立  
広島観音高校  
**長光優樹**  
ながみつ・ゆうき



群馬県立  
太田高校  
**新井高広**  
あらい・たかひろ



愛知県立  
東海商業高校  
**新美廣勝**  
にいみ・ひろかつ

\*プロフィールは2017年3月時点のものです

	組	番	氏名	
<b>大目標</b> (卒業までの目標)				
↓				
<b>中目標</b> (今年度3月までの目標)				
<b>小目標</b> やるべき ことの 具体的 内容	①	②	③	④
	何ができればよいか・どうなればよいか			
	①の評価指標			
	②の評価指標			
	③の評価指標			
	④の評価指標			

## 振り返りによって 自信を醸成させたい

1年生3学期など、中だるみへの対策が必要な時期に、卒業までの目標を設定した上で今後の高校生活をどう過ごすかを考えさせるために、この目標設定シートを活用してきた長光先生。記入したシートは教室に掲示し、クラスの雰囲気づくりにも役立てており、今後は、各学年で年度初期の目標設定のために使用したいと考えている。しかし、現状のシートでは生徒が書いて終わりになっており、自分の成長を振り返り、自信が持てるような機能を備えていない。また、生徒によって目標のレベルや方向性がまちまちで、学年やクラスとしてのまとまりを生み出すシートにする必要性も感じている。

## After



### 改良ポイント

#### 1 学校目標や学年目標を意識しながら個人目標を考えさせる

ア「大目標」「中目標」などではなく、「3年間で身につけたい力」などの生徒が理解しやすい言葉にする。

イ目標を書かせる時には、あらかじめ文末を「～ができるようになっていく」などの状態を表す言葉に決めておく。偏差値や順位などの数値ではなく、「身につけたい力」として記述させることで、プロセスを自己評価できるようにするから。

#### 2 学期に1回、振り返りができる仕かけを入れる

### 2017年度 年間目標達成シート

年	組	番	氏名	生徒会役員 HR役員	部活動
---	---	---	----	---------------	-----

**1ア** 高校卒業時の目標（3年間で身につけたい力、目指す人物像）

学校・学年の目標	
自分の目標	ができるようになっている

■ これまでの成果と課題を振り返って、今年度の年間目標を決めよう。

	学習	生活	部活動
これまでの成果と課題			
今年度の目標			

**2** 今年度の目標を達成するための学期ごとの手立て（取り組み）を決めよう。最初に1学期の手立てを決め、その結果を振り返り、評価してから、次の学期の手立てを決めていこう。

	学習	生活	部活動
1学期の手立て			
1学期の振り返り			
評価			
2学期の手立て			
2学期の振り返り			
評価			
3学期の手立て			
1年間の振り返りと評価			

次の手立てを考えると、

学期ごとに振り返りを行い

高校卒業時と各学年での自分の目標を考えさせる前に、まず学校目標や学年目標を確認して記入させることで、学校での様々な活動を通して自分が目指すべき方向性を意識させるようにした。また、その学年の中での自分の変化や成長を確認し、次への改善へとスムーズに結びつけられるよう、学期ごとに手立てと振り返りを書き込めるようにした。

1年次から継続してこの「年間目標達成シート」を活用することによって、生徒は成果や反省を次年度にもつなげることができ、3年間を通して自分自身の変化・変容を把握することが可能になる。

次ページでは、  
3人の先生方の  
検討の様子を  
ダイジェストで紹介！



このマークのある図版は、加工可能なデータとして、ベネッセ教育総合研究所のウェブサイト (<http://berd.benesse.jp>) からダウンロードできます。「HOME → 教育情報 → 高校向け → 生徒指導・進路指導ツール集」をご覧ください。

## 全学年 年度初期 年間目標達成シート



## 活用の流れ

- 1 年度初期に生徒に記入させる
- 2 生徒が記入した内容を基に面談を実施する
- 3 学期ごとに取り組みを振り返り、次の改善につなげる
- 4 次の学年でも同じ書式のシートを活用し、生徒が自己の成長を俯瞰できるようにする

## 年間を通じて、適切なタイミングで振り返りを

今回の改訂では、1年間を通して目標設定↓振り返り↓改善というサイクルを回していくことを大きな柱とした。検討会では「目標設定と振り返りは、夏休みや3年生0学期などのタイミングで、1〜3か月程度の短期間の節目で行うことが多いため、3年間を見通す取り組みは挑戦する価値がある」「スタートダッシュの繰り返しで3年間を終わらせないためにも、適切なタイミングでの振り返りを習慣化させるのはよいことだ」といった声が上がった。また、各学校の状況に応じて、生徒の目標や振り返りに対する担任からの

コメントや評価の記入欄を設けたり、記入後のシートを使って面談を実施したりといった、発展的な活用方法もいくつか提案された。

生徒に、学校目標や学年目標、クラス目標のどれを確認させるかについても、それらの言葉の具体性や生徒にとっての身近さによって、学校ごとに判断するのがよいという結論となった。また、このシートを通して、学校や学年目標を折に触れて生徒に確認させることで、担任が、各行事などの目標を学校・学年としての視点で語りやすくなるというメリットも指摘された。特に、若手や赴任歴が浅い教師が多い学年団では、個々の教師にとって指導のよりどころとなることが期待できるだろう。

## 検討メンバーの先生に、自身の指導観や自校の生徒特性を踏まえて、ツールの活用方法や留意点などをお話いただきました

## 1年生4月からの生徒との対話の土台にしたい

広島県立広島観音高校 長光優樹 ながみつ・ゆうき



本校には、中学校時代に手のからならない中間層だった生徒が多く、褒められたり叱られたりした経験が決して多くないと感じています。だからこそ、高校では教師と対話する経験をたくさん積ませたいと思っています。今回の検討会では、「年間目標達成シート」を教師とのコミュニケーションをさらに促進するものにしてきました。

本校では、1年生の学習合宿で「高校生の決意」をテーマに作文を書かせていますが、今後はその作文に代えて、このシートを活用することも検討していきたいと思っています。まずは教師が「3年間でこんな生徒になりたい」「そのために各学年ではこんな力をつけてほしい」と生徒に話してから、このシートに取り組みさせます。空欄の箇所や抽象的な表現のところは、その後の面談で確認していくことで、生徒との対話が生まれ、生徒理解が進むはず。目標を掲げて、達成のための手立てを考へ、成果を評価し、さらに手立てを修正していくといったサイクルを回す力を、高校3年間で身につけさせたいと思います。

長光先生プロフィール 教職歴18年。同校に赴任して4年目。教務部。数学科。「現状に満足せずに、常に挑戦意欲を持った生徒を育てたい」  
学校プロフィール 全日制・定時制/総合学科・普通科/共学/1学年約240人/2016年度入試合格実績(現役のみ)/国公立大は、島根大、広島大、愛媛大、県立広島大などに46人が合格。私立大は、同志社大、立命館大、広島修道大などに延べ370人が合格。

## クラスの仲間や教師による他者評価も取り込みたい

群馬県立太田高校 新井高広 あらい・たかひろ



本校には、難関大学志望の生徒が多くいますが、彼らの関心事はやはり学習面です。本校で「年間目標達成シート」を使う時は、学習の欄を多く確保したいです。振り返りも、学期終了時だけではなく適宜途中段階で行うかもしれません。その場合、振り返りの記入欄を大きくすることで、学期の残りの時間により変化を生むことも期待できます。

また、生徒の自己評価の欄もうまく活用したいです。1学期、2学期は取り組みのプロセスを数値で、3学期は目標の達成度を記述で評価させるとよいでしょう。ただ、本校の生徒は目標が高い分、自己評価も厳しめになる傾向にあります。生徒同士で、相手の頑張ったところを裏面に書き合うなどして、自己肯定感を高めさせたいです。

担任のコメント欄もあった方がよいとは思いますが、担任の負担が増えてしまわないかが心配です。例えば、面談で出てきた教師の評価やアドバイスを、その場で生徒が書き込める記入欄を設ければ、担任の負担もある程度防げるかもしれません。

**新井先生プロフィール** 教職歴25年。同校に赴任して8年目。進路指導部。数学科。「正しい道を選ぶのではなく、選んだ道を正しくできる生徒になってほしい」

**学校プロフィール** 全日制/普通科/男子校/1学年約280人/2016年度入試合格実績(現役のみ)/国公立大は、北海道大、東北大、群馬大、東京大、京都大などに136人が合格。私立大は、慶應義塾大、中央大、早稲田大などに延べ494人が合格。

## 採用面接に向けたよりどころとして活用したい

愛知県立東海商業高校 新美廣勝 にいみ・ひろかつ



本校では、専門科目「課題研究」で生徒が日誌を書きますが、その内容に対する教師のコメントに、生徒は敏感に反応します。それだけ教師の言葉を大切にしているわけですが、その分、私たちも生徒への言葉が事務的にならないように配慮をしています。この「年間目標達成シート」でも、できるだけ教師がコメントを書き込んだり、取り組みを評価するシールを貼ったりして、励ます場面を増やしたいと思います。しかし、担任記入欄をあらかじめ設けることはせず、生徒の記入スペースとは別に余白を大きく確保して、担任が一人ひとりの生徒に合わせて、自由に書き込める体裁にしたいです。

就職希望者が多い本校では、このシートは志望理由書などと関連させて活用することもできるでしょう。企業も目標に向けて具体的な行動ができる人材を必要としており、採用面接でもそうした点を見ようとしています。このシートは、生徒が高校時代の成功・失敗体験を語る時のよりどころにできそうです。

**新美先生プロフィール** 教職歴25年。同校に赴任して2年目。進路指導主事。商業科。「自分への自信と母校への誇りを持った、社会に愛される生徒を育てたい」

**学校プロフィール** 全日制/総合ビジネス科・情報科(1年次は両科共通のカリキュラム。2年次より分かれる)/共学/1学年約320人/2016年度進路実績(現役のみ)/4年制大進学41人、短大、専門学校進学88人、就職180人。

改良したいのに、どうすべきか分からない……

### 指導ツールを募集しています!

「改良! 指導ツール ビフォーアフター」では、取材にご協力いただける先生及び取材を検討させていただく「指導ツール」を募集しています。「自校で長年使っているツールを見直したい」「ツールのより効果的な活用法を検討したい」といった、課題意識をお持ちの先生方のご応募をお待ちしております。

〈個人情報の取り扱いについて〉をご確認いただき、必要事項①～④をご入力の上、指導ツールを添付して下記のe-mailアドレスにご送信ください。

※送信前に一度、生徒様の情報が削除されているかご確認をお願いいたします

- ① 学校名・お名前
- ② 分掌・ご教職歴
- ③ ツールの内容(目的・活用時期・活用方法)
- ④ ツールに対する課題意識、改善要望

view21\_since-1975@mail.benesse.co.jp

〈個人情報の取り扱いについて〉 この「改良! 指導ツール ビフォーアフター」のツール募集でご提供いただく個人情報は、今後の企画を検討する目的で利用いたします。お客様の意思によりご提供いただけない部分がある場合、手続き・サービス等に支障が生じることがあります。また、商品発送等で個人情報の取り扱いを業務委託しますが、厳重に委託先を管理・指導します。個人情報に関するお問い合わせは、個人情報お問い合わせ窓口(0120-924721、通話料無料、年末年始を除く、9時～21時)にて承ります。(株)ベネッセコーポレーション CPO(個人情報保護最高責任者) 上記をご承諾くださる方はご送信ください。

\*プロフィールは2017年3月時点のものです